# Installation Qualification

# 据付時適格性確認 (IQ) 計画書 及び 報告書

機種名: 浸透圧分析装置

型式名: OM-6060 S/N:



作業実施日 :

報告書作成日:

計画書及び報告書承認欄			
日付	施設名	作業確認者	
日付	施設名	管理責任者	

日付は西暦で記入すること。

## <目次>

- 1. 本書について
- 2. 目的
- 3. 確認内容
- 4. 確認結果
- 5. 総合評価



#### 1. 本書について

本書は、据付時適格性確認(IQ)計画書及び報告書である。計画書及び報告書承認後、据付時適格性確認(IQ)を実施し、結果を本書の「5.総合評価」の項に記入して報告書とする。

結果が規格から逸脱した場合は、原因を追究し是正後、あらためて、据付時適格性確認(IQ)を実施する。

※ 本書への記入には、黒色または青色のボールペンを用い、署名の際には日付を記入する。

#### 2. 目的

浸透圧分析装置 0M-6060 が正しく設置されていること及び定められた仕様に適合していることを確認する。

#### 3. 確認内容

#### 3.1 付属品

取扱説明書の梱包内容に記載された付属品に不足がないことを確認する。

#### 3.2 外観

外観に凹み、キズ、変色等がないことを確認する。

## 3.3 設置条件

下記の条件を満たしていることを確認す

# (1) 装置設置場所

・温度変化が少なく、下記基準を満たす温度および湿度に調節できる部屋に設置する。
基準:温度 10~30℃ 湿度 20~80% (結露しないこと)
※装置の温度や湿度に影響をおよぼすものの近くに設置しない。

- ・水平で振動のない、丈夫な台の上に設置する。
- ・装置背面と壁との距離が 20cm 以上、装置左面と壁との距離が 20cm 以上離れている。
- ・ファンの吸排気を妨げるものがないこと。
- ・化学薬品の保管場所や腐食性ガス、電気的ノイズを発生するものの近くに設置しない。
- ・水滴、日光、風が直接当たらない場所に設置する。

## (2)電源

・電源の周波数と電圧

基準:電圧:AC 100~240V(主電源電圧変動は±10%以内とする) 周波数:50/60Hz

- ・付属の電源コードを使用する。
- ・装置の電源は、できるだけ単独の電源コンセントに接続する。
  - ※同一回路の壁面コンセントに接続している機器の電源入力合計が1500VAを超えないことを 確認してから電源を入れる。
- ・装置の電源コードは感電事故を防ぐため、必ずアース端子付コンセントに接続する。

## 3.4 電源投入時状態

電源を投入し、正常な状態で初期動作が行われ、異常が発生せず待機画面になることを確認する。

## 3.5 結果

「4. 確認結果」に記入する。

## 4. 確認結果

浸透圧分析装置 OM-6060 <u>S/N</u>: はついて、据付時適格性確認(IQ)の結果を以下に記入する。

#### 4.1 付属品の確認結果

取扱説明書(1章4~5~~~-ジ)の梱包内容に記載された図1及び図2の付属品に不足がないことを確認し、表1及び表2に記入する。



図1 付属品

表1 付属品 チェック表

No.	梱包品	内容	個数	チェック欄
1	洗浄液ボトル	ポリエチレン製、500mL 細口、	1	
		ボトルキャップ付		
2	廃液用ボトル	ポリエチレン製、500mL 広口、	1	
		ボトルキャップ付		
3	電源コード		1	
4	サンプルラック		1	
5	感熱記録紙	58mm 幅	1	
6	リファレンスマニュアル	CD-ROM	1	
7	アクセサリーケース	内容については次の表を参照	1	
8	取扱説明書		1	
9	添付文書	取扱説明書と同梱	1	
10	保証書	納入シール、保証書ケース付き	1	

破損や不足などの問題がないことが確認出来た場合、チェック欄に「✔」を記入する。

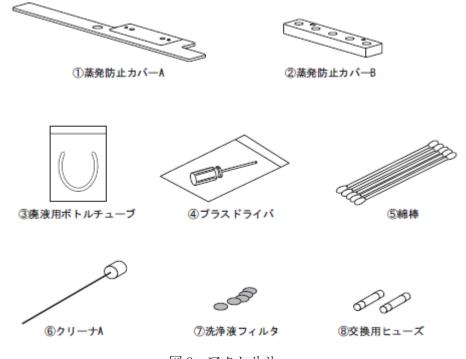


図2 アクセサリー

表 2 アクセサリーケース チェック表

No.	梱包品	内容	個数	チェック欄
1	蒸発防止カバーA	<u></u>	1	
2	蒸発防止カバーB	-	1	
3	廃液用ボトルチューブ	シリコンチューブ、 内径 φ 2mm×外径 φ 4mm - 長さ	1	
	発仪用が下ルラュー)	7年 の 2mm × 外径 の 4mm - 長さ 250mm、1本入り		/
4	プラスドライバ	No. 2、プラスチック絶縁	1	
5	綿棒	測定センサと洗浄槽の清掃用、	1	
		5 本入		
6	クリーナA	測定部清掃用ワイヤ	1	
7	洗浄液フィルタ	洗浄液ボトル用、5枚入	1	
8	交換用ヒューズ	T3A250V~、2個入	1	

破損や不足などの問題がないことが確認出来た場合、チェック欄に「✔」を記入する。

# 4.2 外観の確認結果

内 容	結 果
外観に凹み、キズ、変色等がない。	□合格 □不合格

内容に相違ない場合は、「合格」に「✔」をつける。

## 4.3 設置条件の確認結果

設置場所	

内 容		結 果	
温度	$^{\circ}\!\mathrm{C}$	□合格	□不合格
湿度	%	□合格	□不合格
装置の温度や湿度に影響	『を及ぼすものが近くに設置されていない。	□合格	□不合格
水滴や日光、風が直接あたらない。		□合格	□不合格
水平、無振動で、装置が壁より指定距離分離れている。		□合格	□不合格
近くにノイズ、腐食ガス等の発生源がない。		□合格	□不合格
ファンの吸排気を妨げるものがない。		□合格	□不合格
付属の電源コードを使用している。		□合格	□不合格
電源電圧が指定範囲である。		□合格	□不合格
電源はアースがとれている。		□合格	□不合格

条件を満たしている場合は、「合格」に「✔」をつける。

## 4.4 電源投入時状態の確認結果

内 容	結 果
電源を投入し、正常な状態で初期動作が行われ、異常が発生せず待機	□合格□□不合格
画面になる。	

条件を満たしている場合は、「合格」に

## 5. 総合評価

作業項目	判 定	総合判定	
付属品の確認結果	□合格 □不合格		
外観の確認結果	□合格 □不合格	□合格 □不合格	
設置条件の確認結果	□合格 □不合格		
電源投入時状態の確認結果	□合格 □不合格		

「4. 確認結果」の各項目で、すべてが「合格」となっていたら判定の欄の「合格」に「✓」をつける。また、「5. 総合評価」の判定の欄の「合格」にすべて「✓」がついたら、総合判定の欄の「合格」に「✓」をつける。